

メッセージ1——研究問題

1. なぜローマ人への手紙第8章が極めて重要であるかに関する五つの主要な点を分け与えてください。
2. 命の霊の法則の定義とは何でしょうか？
3. わたしたちが命の霊の法則に「スイッチを入れる」ことができる方法とは何でしょうか？
4. どのようにしてわたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあるのでしょうか？

なぜローマ人への手紙第 8 章が極めて重要であるかに関する五つの主要な点を分け与えてください：

1. ローマ人への手紙第 8 章は全聖書の焦点また宇宙の中心であると考えられる。 神は永遠の過去において彼の贖われた民の中へと入ることを決意しました。それは神が彼らの命となることができるためであり、また彼らが神の団体の表現となることができるためでした。これが神のエコノミーの焦点です (I テモテ 1:3-5)。人は神の創造の中心です。なぜなら、神の意図は人を通して表現されることであるからです。人が神の表現となることができるのは、神が人の中へと入って人の命また内容となり、人を彼と一とすることによってのみです。それによって人は神によって生き、さらには神を生かし出すことができます。こうして神は人の内側から表現されます。ゼカリヤ書第 12 章 1 節が啓示しているのは、天が地のためであり、地が人のためであり、人が神によってを霊を持つ者に創造されたということです。それは人が神と接触し、神を受け入れ、神を礼拝し、神を生き、神のために神の定められた御旨を成就するためです。宇宙の中心的な焦点は、手順を経た三一の神が、命の霊の法則としてわたしたちの中へと入って来て、今やわたしたちの中に住んでおられるということです。これは最大の奇跡です。宇宙でこのことよりも重要なことは他にあり得ません (イザヤ 66:1-2. ヨハネ 14:23. 15:4)。宇宙の中心的な焦点は、この手順を経た三一の神がわたしたちの中へと入り、今やわたしたちの中に住んでおられるということです。これは最大の奇跡です。宇宙でこのことよりも重要なことは他にあり得ません。三一の神がわたしたちに内住し、わたしたちと一であるので、わたしたちはみな喜びに満ちているべきです。彼はわたしたちの命またわたしたちのパーソンであり、わたしたちを彼のホームとしつつあります。

2. 死に物狂いに尋ね求める者たちのための章——ローマ 7:24-25 前半。

3. クリスチャンであることのかぎ——不可能の領域 (復活の領域) の中で生きる——
ローマ 8:2-4——「なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、わたしを解放したからです。律法が肉のゆえに弱くて、なし得なかったので、神は、ご自身の御子を罪の肉の形で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました。それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩くわたしたちにおいて、満たされるためです」。これが示しているのは、命の霊が不可能を対処する要素を含んでさえいるということです——10, 6, 11. 参照、啓 21:23. 22:1-2, 14。

4. 勝利者となるかぎ——イザヤ 40:31——「しかし、エホバを待ち望む者たちはその力を新しくする。彼らは、わしのように翼をもって舞い上がる。走っても弱ることはなく、歩いても疲れることはない」 (参照、フットノート 1 と 2)。

5. どのようにからだの生活をするかの秘訣と、ローマ人への手紙第 8 章におけるキリストのからだの中に生きることの秘訣。（ローマ人への手紙第 9 章から第 11 章は挿入であり、ローマ人への手紙第 12 章は、ローマ人への手紙第 8 章の直接の継続です。）わたしたちは命の霊の法則に「スイッチを入れる」とき、ただちに実際的な方法でキリストのからだの実際の中に入ります。キリストのからだの実際は、成就された神・人による団体の生活です。彼らは、絶えず自己を拒絶し、別の命、すなわち、神聖な命、命の霊の法則によって生きることを訓練することによって、円熟します。このような生活は、キリストのからだの実際であり、この時代、すなわち、召会時代を終わらせ、キリストの再来をもたらして、キリストは王国時代においてこれらの神・人と共にこの地を取り、所有し、支配されます。